

人生を楽に生きるためのメッセージを箸蔵寺のご住職に伺いました。



人の心は移ろいゆくものです。自分の考えも、相手の考えも、年齢や経験により成長します。その成長が、二人で生み出した家庭の色をさらに新しい色に変えていくことになるのだと思います。いつでもどこからでも話し合い、絶えず新しい色を生み出していける関係は、「最初が肝心」ではなく「今が肝心」なのです。

今回は夫婦や恋人など、パートナーとの関係について思うところを述べさせて頂きたいと思います。育ってきた環境が違う二人が共に時間を過ごしていくということは、なかなか大変なことです。背景にはそれぞれのご家庭での育てられ方があり、ライフスタイルや家庭のルール、教育方針なども異なつて当然です。将来を考えないお付き合いであれば、ややこしい部分に目をふさぎ、楽しい部分だけを追いかければいいのかもしれないですが、長い人生をともに歩んでいこうと考えている相手同士では、避けて通れない問題は少なからずあると思われま。

人の数だけ生き方があります。色に例えると、赤と黄色という異なる色が混じり合う時、そこにできる色は真つ赤でも真つ黄色でもありません。生まれてくるのはオレンジという新しい色です。相手を赤にしてしまおう、黄色にしてしまおうと思うことは相手の今までを全否定することです。オレンジは赤でも黄色でもありませんが、赤と黄色がないとできない色です。ですから、自分が大切に想う相手が育ってきた環境に敬意を払い、お互いの良いところを取り入れることができるならば、どちらの生まれ育った家庭のコピーでもない、新しい関係を作つてゆくことができるのだと思います。

「最初が肝心」という言葉があります。よい言葉だと思いますが、こと男女間において使われる時、私はあまりよいイメージを持ってない場合があります。それは、この言葉が、どちらが主導権を取るかという「格付け」の意味で使われる場合があるからです。この場合、運悪くスタートダッシュに失敗した方は一生我慢をすることとなり、小さな不満がどんどん溜まっていきます。長い人生を生きていく相手との関係が最初の一瞬で決まり、死ぬまで何も変えることができないのなら、言いたいのない寂しさを感じます。

人生 応援 メッセージ

企画・制作 / 徳島新聞社営業局

真言宗御室派別格本山
箸蔵寺 第六十四世住職
さとう せいじん
佐藤 盛仁氏

筆者ご紹介

【略歴】北海道大学経済学部経済学科卒業・総本山仁和寺内仁和密教学院卒業。高野山大学院修士課程 密教学科修了。箸蔵寺に入山の後、徳島県教育委員会 委員、委員長を歴任。他にも多数のキャリア教育関連の講演実績があります。